



We Serve

月刊 総エイト

みんなで展開しよう
奉仕の創造

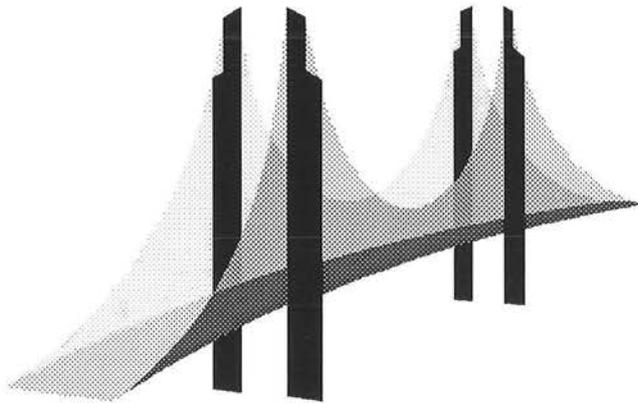


NO.4

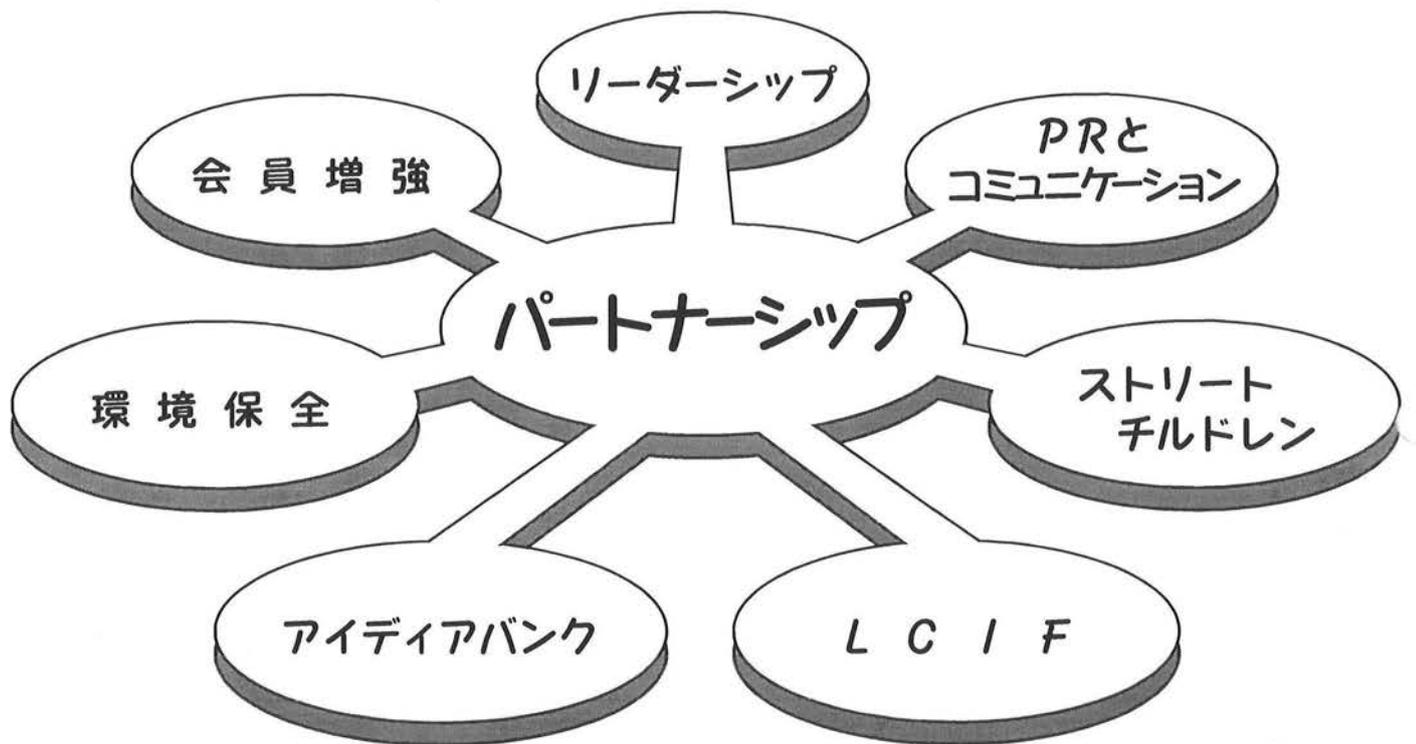
ライオンズクラブ国際協会 333-C地区 地区ニュース

1997年2月15日発行(1996-1997)

We Serve



七つの架け橋



1996-1997 国際プログラム

1996-1997 国際会長
アウグスティン・ソリバ

房 総 エイト

NO.4

目 次

第35回東洋東南アジア・フォーラム	2
第16回千葉県高等学校弁論大会開催	3
ライオネス連絡会議開催	3
新入会員特集	4
レオクラブ調査隊ネパールに行く	12
LIONS YOUTH EXCHANGE 体験記	16
クラブ活動レポート	20
編集室	24



仁王様の由来

松戸市馬橋にある臨濟宗万満寺、その門前に立つ仁王様は国の重要文化財に指定され松戸市の象徴的存在である。その起源はかなり古いもので鎌倉時代と聞いている。浮谷地区ガバナーが特にバナーに取り上げたのはその力をわが力として、松戸キャビネットに神仏の加護があるようにとの願いがあるものと聞き及んでいる。

題 字 浮谷俊行地区ガバナー
表紙の写真 浮谷俊行地区ガバナー
東洋東南アジア・フォーラムに出席

第35回東洋東南アジア・フォーラム

1996.11.28 ~ 12.1 中華民国台北

第35回東洋東南アジア・フォーラム(OSEAL)が地区内の2万人近い会員参加のもとに、11月28日～12月1日まで台北市で盛大に開催された。日本からの参加は4045名と聞いている。

浮谷地区ガバナー一行の台北到着に台北LCのメンバーがレイを持って出迎えてくれたが、車の手配ミスで随分待たされその挙げ句、ホテルのチェックインなどトラブったりの大変な有様だったようである。受け入れ側の準備も大変だったことと思われる。

翌11月29日、朝8時会議開始。その後パトカーの先導で一般道もノンストップで大会会場の桃園ドームに到着。また、ここでも待たされた後、李登輝総統の挨拶で大会が始まり、ソリバ国際会長が抱えられながら登壇挨拶、続く各国議長の挨拶の頃には、メンバーの退場もさることながら壇上のガバナー迄もが次々と姿を消す有様で、国際交流、友情のフォーラムが寂しく感じられた。そんな中で入場の際、333-C地区のメンバーのグループが浮谷地区ガバナーの名前入りの横断幕で激励したりした場面には感激するものがあった。

最終日12月1日の国際理事L福井正憲の挨拶で、大会役員関係者に敬意と感謝の言葉もあったが、民族の違いが一つの行き違い等で難しい場面となり大変なことになる。この様な大会の運営は難しいものがあるが、式典内容において一考すべきではないかと思った。

333-C地区参加者の皆様に深く感謝致します。

尚、来期の第36回 OSEAL フォーラムは1997年11月、フィリピンのマニラ市で開催、第37回を1998年11月27日～30日横浜市(330-333複合地区)で行われる。又、第38回はMD308シンガポールでの開催が決定している。



地区内フォーラム登録参加クラブ

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 R 2 Z 行徳LC | 4 R 3 Z 八千代LC |
| 2 R 1 Z 松戸LC | 5 R 2 Z 千葉エコーLC |
| 2 R 2 Z 松戸東LC | 6 R 1 Z 成田LC |
| 4 R 1 Z 船橋中央LC | 6 R 2 Z 佐倉中央LC |
| 4 R 1 Z 船橋さざんかLC | 7 R 1 Z 佐原LC |
| 4 R 2 Z 船橋東LC | 10 R 1 Z 茂原中央LC |

台湾とは姉妹提携しているクラブがたくさんある関係で上記以外にも参加したクラブ、個人参加されたメンバーなど多数います。

第16回千葉県高等学校弁論大会開催

1997.2.2(日)

柏市、さわやかちば県民プラザ

柏市にオープンした「さわやかちば県民プラザ」に於いて2月2日第16回千葉県高等学校弁論大会が行われました。県下の高校生が未来への夢を携えて参加。洗練された口調で環境や福祉、平和を論題とし、口角泡を飛ばすこともなくさわやかに熱弁を振るいました。参加11校、弁士21名の内女生徒が16名でした。

大会は基準弁論の「蘇れー大自然」と題して、県立佐原高校一年の千野根香さんに始まり、最優

秀賞には「個人の輝きは日本の未来」を論じた県立佐原高校一年生吉田さやかさんに輝きました。聴講については、もっと学校側の協力を得て参加する多くの生徒の姿を見たいものだと思います。

※注：(第88回)について

この大会は主催を、千葉県高等学校文化連盟弁論専門部会、千葉県高等学校教育研究会弁論部会で年2回行われてきました。LCのこの地区で16年前より年一回を主催者に加わり支援しております。



やさしく真剣に討議

ライオンズクラブ国際協会333-C地区ライオネス連絡会議

1997.2.5(水)

船橋市、フローラ西船

2月5日、「フローラ西船」で行われたライオネス連絡会議では、地区の11クラブから三役やライオネス連絡員が積極的に参加して、第43回333-C地区年次大会のライオネスフォーラムを如何に運営するかを真剣に討議されました。浮谷地区ガバナーを始めとする男性のメンバーにとっては快い雰囲気終始し、そこには一足早い「花園」を見る様な満足の感がありました。何事もスムーズに会議は運び、「ライオネスの歌」の合唱には専門家であります君津LSCの会長LS松本が音頭をとり、美しいハーモニーを見せてくれました。そして本番への意欲的な熱意を感じられました。



新入会員特集

ライオンズクラブの目的達成と更なる飛躍のためには、メンバーの増強が大変重要であると思われます。

新入会員特集の企画は、思いを同じくして新しく入会したメンバーが、今、何を感じ、どの様に考えているのか、そしてクラブでリーダーシップを取り意見の言えるメンバーとして成長してくれるのか、地区内の新しい入会者から寄せられた率直な意見を掲載し、感動ある紙面を通して会員増強の今後のあり方を考える必要を強く覚え、ライオンズ精神の普及と奉仕活動の大きく飛躍される一助となってくれることを望むものであります。

ともがき

幼いころに
ランドセル背負い
いたずらしたら
見つかり一緒に
べそかいたっけ

仕事に頭を抱えたとき
酒に溺れて泣いたとき
いつも君が励ました
「俺にやよく分かる」と
肩を叩いてくれたっけ

たった一度の人生に
君のごとき友を得て
心に通うともがきの
しみじみ思うありがたさ
胸張っていま叫びたい
「私には明日がある」と

皆川春安

1R1Z 市川LC

L 成井幸廣

誓いの言葉を読み上げ緊張した中で、LIONSのバッチを胸に付けて頂いてから早くも6ヶ月が過ぎました。奉仕活動に目を向けるきっかけとなったのは、私の母の影響と国府台の地に育った事のように思います。私の母は国立病院の看護婦をしていまして、小さい頃からよく病院内を遊び場としていた事、近くに聾啞学校があり、幼稚園の頃からそんな彼らに接していた事が大きな影響となり、自分で出来る範囲で役に立てればと思っていましたが、私にとってLCは夢のクラブでした。現市川LCの会長L石毛から入会のお誘いを頂き、皆様から承認を頂いた事

で、私の夢が現実となり不安と希望に胸をときめかせております。

市川LCには「七夕会」という若手で構成されている会があり、古参先輩の提案にて発足されたと聞いていますが、この会が実に楽しく運営されており、私の様な新米ライオンを躊躇なく受け入れて頂き、クラブ全体の「和」の中に淀みなく参加する事が出来ました。何時も目先を変えた食事会が楽しみとなっている私です。

LCの活動について、まだ何も解っていない状態ですが、私自身が会合や活動に積極的に出席をし、少しでも早くクラブの運営を理解し諸先輩方の指導の元に、メンバーとしての誇りを胸に「ライオンズ ヒム」を、そして私がとても好きになった曲「また会う日まで」を何時迄も健康の中で歌い続けたいと思っています。

2R1Z 松戸LC

L 大橋 誠一

雨の朝、そして月曜日には、通勤通学のラッシュ時の幹線道路付近の各交差点の渋滞は並大抵の事ではない。かなり無理な突入をしていかないとクリア出来ない。譲るばかりでは仲々目的地へ到達しそうにも無いと思える。そんな中で本当に無理をすると事故に成りかねない。

さて私は今年の三月に松戸LCに入会し約十ヶ月を経過している。何回かはやむを得ず例会欠席もあったが殆どは出席している。慣れないうちに司会も既に二回程経験させて頂き、まだ戸惑う事の何と多いことか。クラブの使命や目的については漠然とであるが見えて来ている。理解までには勿論至ってはいない。

新入会員に対しての既存会員の方々の反応は様々であり、興味深く又面白いのである。平素忙しい方達ばかりなのではしょうが例会後に酒の席へと誘われる事も度々である。元来私も酒はいける口なので余程の事が無ければ断らない。又そこでの会話もまちまちで、真剣にLCの事に終始する人、又私の父の事(父は松戸LCのチャーターメンバーで故人)について良く思い出話を語ってくれる人、店の女性としか話さずカラオケ等に夢中人、本当に酔ってしまい常軌を逸しかけて居る人、どうしても愚痴話に成ってしまう人、まさしく人の世の常で特別な人など存在しない。当たり前であるが当たり前の人々の集まりなのである。

どんな会でもそうであるが人間の集まる所まさに人間交差点である。一定のルールがあり細かく言えばマナー、エチケットが確実に存在している。しかし、どれが正しくてどれが間違いであると明確に言い切れないのが人間関係で、それは交通ルールよりも難しく煩わしいようである。

社会奉仕は重要な事であるが、そこに至る迄の道程で、無理な交差点突入や信号無視は避けたいものである。安全に確実に目的を遂行する事にも重要な課題を秘めていると思えてくる。

親子二代で入会させて頂いた松戸LCが益々発展する事、又その為に自らが寄与出来る事を願って止まない今日この頃である。

2R2Z 流山LC

L 土屋 辰幸

LCに入りあっと言う間に一年が過ぎました。入会式の時は緊張しましたが知人も多く早く仲間に入る事が出来ました。私とL鈴木孝行の入会は同時でした。入会してから戸惑った事は、まず例会の時に歌う「ライオンズクラブの歌」「ライオンズ・ヒム」が分からず、口をパクパクと動かしてごまかしていました。

LCに入り最初の活動でチャリティゴルフ大会の手伝いをさせて頂き、その時会長はもとより各諸先輩の方々の心づかいに感動し、私にも奉仕活動が少しでも出来そうに思いちょっぴり自信が着きました。これから皆様方と奉仕活動を行う楽しみが出来たと喜んでいる次第です。

又、姉妹クラブの相馬LCの記念例会式典に出席出来たこと、式典に出席し相馬LCの皆様市内を案内して頂き、相馬LC、LSCの皆様と懇親会で一緒にカラオケで歌ったり、相馬ユートピアで一泊等楽しい思い出でした。

それから96年4月に船橋で行われた「第42回地区年次大会」に出席し、各地区の皆様との出会い、あの盛り上がり深く感動致しました。又、野田LCの例会訪問等いろいろと良い経験をさせて頂き、LCに入会して本当に良かったと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2R2Z 流山LC

L 鈴木 孝行

もうかれこれ30年ぶり位になるかな…。彼は高三の時、何ヶ月か我家で寝起きを共にした友であった。卒業と共にそれぞれの道へ進み交際は途絶えていたが風の便りに元気でやっている事は知っていた。その彼が、我家の持店舗の中にあるスナックに奥さんと飲みに来ている旨、電話があり懐かしさを覚えながら喜んで出向いた。四方山話に花を咲かせて大いに旧交を暖めあった。そんな事が二度三度と重なる内に「今度、流山LCに訪問するのでお前を紹介してやるよ。」私は奉仕される様な立場であり、ましてや奉仕の精神など持ち合わせていないと

断ったが、翌朝、事務所に「松戸LC入会申込書」がFAXされていた。暫くの間記入を渋っていたが、当時の流山LC会長L多田がわざわざ私を訪問され、友から紹介と入会する旨電話があったと、「流山LC入会申込書」を持って来られてしまった。(手回しのいい事で)元来、優柔不断な(友の言葉)私は「毎月、夜の例会が二回位それに出席すればいいんだよ」に騙され、もの見事に入会の憂き目に合ってしまったのだ。ピジター訪問、入会式とアレヨアレヨの内にライオンズマン……。例会に出席してみると気心の知れた数人の知り合いもライオンズマンであった。以後一年間、数々の奉仕活動を通じて友人も増え、ゴルフも覚え、尊い奉仕の精神にも目覚め?……ろくな趣味も持たなかった私は今ではLCに入会を勧めてくれた旧友に感謝、感謝のこの頃である。

2R2Z 流山LC

L 佐藤修次

流山LCに入会して早一年が経とうとしております。最初に入会の誘いを受けた時は正直言って尻込みをしました。LCは奉仕団体だと聞いて入会しましたが、何が、どんな奉仕活動なのか分からないままに今日まで月日が過ぎましたが、それでも月2回の例会そして委員会活動、と出席の回数を重ねて行く内に少しずつ分かってきました。「ウィ・サーブ」の意味、そして地域社会への奉仕が基本であるという事も。一般の人はLCのやっている事を殆ど知らないと思います。LCの活動の内容をもっと広くPRする事が大事だと思います。いかに地域とコミュニケーションをとり、そして地域の人達から信頼される事、又そうした奉仕活動を行って行くことが、LCとして望ましい事ではないでしょうか。同時にLCはもう少し世間で評価されても良いのではないかと思います。もっと多くの方々に入会して頂き共に汗を流し、自分も含めて人間的に成長して行けたらと考えています。



2R2Z 野田LC

L 豊田秀夫

地域や先輩の勧めでLCに入会して半年にもなりません、クラブの一員として地域の奉仕活動を通して多くの人との出会いで、何も知らぬままの人生より少しでも豊かに有意義にしたいと思います。LCは入会してから、覚えなくてはならない言葉が多いので、これから頑張っで覚えようと思います。皆様よろしくお願ひ致します。

3R1Z 柏LC

L 登内正身

柏LCに入会して1年9ヶ月経ちます。現在、市民・教育委員長に任せられ活動中です。企業の一営業所長としての立場の入会希望ですので、やはり転勤と出席率の問題等で、スポンサーライオンが、理事会に際してはかなりお骨折りをしたと聞きました。皆様の足並みを乱さぬ様にとのご要望のもと入会することが出来ました。例会には真面目に出席し現在はほぼ100%の出席率を確保しています。

LCに入会して良かった事は、欠席せずに真面目に例会に出る事で多くの方が親しく迎えてくれ、大勢の人との出会いがある事かと思ひます。一企業にいては所詮上下の関係が強く物の考え方は一眼的で幅の狭いものとなります。その点では様々な人が集い多くの人に接しリーダーシップのなんたるかを身につける場として本当に入会をして良かったと感じています。

又ライオンズが掲げる奉仕の精神については、世界的な規模でスケールの大きさにも触れる事ができました。それは昨年9月末にベトナム・アンフー村に、我が柏LCが幼稚園を寄贈しその竣工式典に参加出来たことです。

その場所は人里離れたベトナムの山村の片田舎でしたが、長年のアメリカとの戦争の疲れも見せず、特に子を持つ母親の教育熱心な眼差しには、大変心を打たれました。21世紀に向けてのベトナムの人づくりの一端を見ることが出来、この貴重な体験もLCに入会しての賜物かと思ひます。

3R1Z 柏LC

L 塩崎直弘

平成7年4月に会社の移動で大阪から柏へ転勤、当社の歴代支社長が柏LCに入会していた関係で、L芳野幸男のスポンサーで6月に入会させて頂きました。

私の様なサラリーマンで3~4年で転勤する者は馴染むのに時間が掛かるのではと心配していましたが、柏LCの方々は大変気安く声をかけて頂きその心配はすぐに消えました。

LCの方々の職業を見ますと自営業の方が大変多いのにビックリしました。皆さん60歳以上の方も現役でお仕事をされている事とても羨ましく思います。当社では54歳で役職停年となり私自身も後4年です。体力も気力もまだ充分あると思っていますが、何だかサラリーマンとは寂しいものだと痛感している次第です。地域の方々と月2回お会い出来るのを楽しみにして、私自身もこの柏の地に骨を埋める気持ちでお付き合いさせて頂きたいと思っています。

今後とも会の発展のためにも微力ながら努力したいと考えております。

3R1Z 柏さくらLC

L 矢部 布志夫

生まれは石川県、育ちは北海道の網走、大学は長野県の松本で過ごした後、日本大学松戸歯学部勤務したのが縁で柏市豊四季で開業以来13年が経ちました。その間、地元の歯科医師会に入会し活動を行ってききましたが、ふと気づくと周りは歯医者ばかりで自分が随分狭い世界で生きている様で、時には世間とのズレを感じる事もありました。

そんな折、藤井美昭さん(初代柏さくらLC会長、現ZC)が患者さんで来られていて、日頃思っている事をご相談しました所、LCへの入会を勧められた様な次第です。

私にとってLCは自分自身の人格形成の為に「人との出会い」が目的であり、ライオンズ精神を本当に理解してと言う事ではなく、入会后、先輩の方々に教えていただいたり、ライオンズ必携をバラバラ見ても本当のところ、未だ

に余り理解できないままでおります。

一方その様な訳で未だにライオンズ精神も分からずにいますが、活動内容が非常に多岐に涉り会員の皆様が非常に協力的であるのにはびっくりしています。一人ひとりでは出来ない事もLCの活動を通してだで行える事を知りそのパワーを頼もしく感じています。

柏は周辺地域に比べ伝統の少ない戦後急速に発展した地域です。その為地域として内合する問題も沢山ありますが、反対に様々な可能性やエネルギーを感じさせる地域でもあります

今後、LCの一員として、この柏を心から「ふるさと」と言える様にする為、微力ながら地域社会に貢献し、私自身の人生がLCの皆様とのお付き合いを通じてより豊かになる様に、クラブライフを頑張りたいと考えています。

3R2Z 柏オークLC

L 谷崎良治

私は柏オークLCの入会予定者として、昨年暮れ「12月第二・YE生歓迎クリスマス家族例会」に妻と共に招き頂きました。当日は、ホテルオークスのロイヤルホールで行われ、何名かの身障者の方も招待されていたようでした。ホールの玄関に入る所に一、二段の階段があり、5メートル位手前を車椅子の人が玄関に向かっていました。私どもはL鈴木和夫と共に20メートル位後方を歩いていましたが、突然L鈴木はその車椅子に走り寄って片側を持ち、私に向かって「おーい、早く持ってくれ。」と言ったのです。その後、L鈴木は親しそうにその人に暖かい言葉を掛けて、後は何もなかったように私達をホールまで案内してくれました。

私は過去にその様な状況にあった時、手伝ったり助けてあげる事がなかなか出来なかったの彼の行動を見て本当に敬服しました。勿論、手助けしたい気持ちは十分に持っているのですが率先して動くという事が出来なかったのです。困っている人がこっちを向いてくれればいいな、目が合えばすぐに手伝って上げるのと思いつつ、恥ずかしいとか照れくさい気持ちが邪魔をするのです。その点L鈴木はとてもスマートで慣れているのです。私はLCのメンバーは皆んなこの様な人ばかりと知りすぐに入

会させて貰いました。

数ヶ月後のある日、電車内で前の座席を見て「詰めて掛ければもう一人座れるのになァ」と考えていました。すぐ横を見ると、疲弊しきったような年配の会社員風の男性が今にも倒れそうな姿勢で立っています。私は前の席に座っていた人達に言ったのです。「もう少し詰めてくれませんか」そうしてその会社員風の人をそこに腰掛けさせました。この言葉が自然にそして何のためらいもなく出てきたのは驚きでした。LCに入会していろいろと教えて頂く内に自分がそう変わったのだと喜んでいました。

入会して半年が経ちました。これからも柏オークLCの一員として恥ずかしくない行動をし、又、諸先輩にご指導をお願いしつつ精進して行きたいと考えています。

5R1Z 千葉幕張メッセLC

L 橋本 弘幸

入会させて頂き2年になろうとしています。1年度目は社会福祉委員会の仕事を、今年度はテール・ツイスターをさせて頂いております。

入会当時私はまだ30歳で、「私のようなものにライオンズの資格があるのだろうか」と気後れもしましたが、強く推薦して下さる先輩に恵まれ思い切って飛び込む事に致しました。

右も左も分からない私が、初めに決意した事は例会に休まず出席しようと言うことでした。LCの例会の日は潔く仕事を入れずとにかく出席に努めました。お陰様でよくお話すライオンも増え、今期はテール・ツイスターという過分な役をさせて頂く事になりました。理事会にも出席させて頂きクラブ内の運営の様子も少しずつ分かるようになって来ました。

この様にLCのクラブライフに少し慣れてきた私の感想は、皆様と一緒に出来るACTの喜びがこれほど大きなものだったという事です。学生の頃からボランティアへの関心は強い方で、人の役に立てる喜びを何度となく与えて頂きましたが、LCと言う大きな組織で数多くのACTがされており大変感激致しました。

又、障害を持つ方々との交流や駅前への花の寄贈を通して、今まで以上に人や町が身近に感じられるようになった事です。人と人が触れ合

い心を通わせる機会が少なくなっている今日、ボランティアを通してそれらを取り戻して行ける素晴らしさを体験させて頂き、私にとって心から感謝したいと思います。

最後に若輩の私を一人のライオンとしてお付き合いして下さいのクラブの皆様に出会えた事は本当に私の大きな財産になっています。

今後も素晴らしいメンバーの皆様と一緒に、ACTの喜びを分かち合っていきたいと思えます。又、各LCが他に誇れる様なACTを一つでも二つでも育てて行くと思えます。

5R1Z 千葉グリーンLC

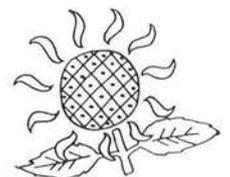
L 葛山 賢司

私が前会長L富田稔のお誘いを受けて入会させて頂いたのは平成8年6月でした。入会前のLCの印象といえば、小学生の時に道路脇に置かれた「〇〇ライオンズクラブ寄贈」という文字の入ったプランターを見た事位でした。

ところが入会して驚いた事は、活動範囲の広さもさる事ながら、いい年をしたオジサン(?)達が早朝を苦にもせず駅前の清掃に励んでおり、単にお金だけ出して慈善事業をするだけのクラブだと思っておりましたが、実際は会員一人一人が身体を動かし地域社会に奉仕している事を知った時は感銘を受けました。

又、他の職種の皆様と交流を深める事が出来るのも入会して良かったと思うことの一つです。歯科以外の職業で経験を積んでこられた先輩とお話する事で視野も広がり、自分の仕事について新たなヒントが与えられたり、ボランティア精神に富み同じ価値観を持つ皆様との会話は大いなる楽しみでもあります。

ただ、入会金と年会費の高さを疑問に思う所でもあります。今後の目標は例会の皆出席を目指し新会員の獲得に努めたいと思えます。そしてクラブの中で一番若いという特権を生かし、積極的に体を動かして活動に参加し地域社会に貢献し、奉仕と創造の精神を忘れずに頑張っていく所存であります。宜しく願い申し上げます。



5R2Z 千葉ゆうきのLC

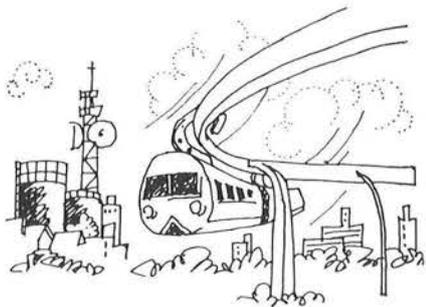
L 古谷晴美

二年という短い間にライオネス、ライオンズの両クラブに入会する機会を得てとても幸せに感じている。『女性奉仕団体＝有閑マダムの集い』との社会通念の強い中、仕事、家庭と多忙でありながら気持ちよく活動する会員を目の当たりにしてその概念はすぐさま一掃された。狭い視野の中での専業主婦の私にとって、多様な職種、経験豊富な会員との目的を同じくした活動や交流は貴重な社会学習となっている。この出会いを大切に皆で協力し合って、地域のニーズに応えながら奉仕活動の輪を広げたい。そして奉仕することで自分自身が豊かになり幸せに感じられる人間でありたい。願わくば私のライフ・ワークとして社会福祉の向上実践に微力を注ぎたいものである。

5R2Z 千葉ゆうきのLC

L 内藤瑛子

千葉京葉LSCと僅か二年のお付き合いを頂いたご縁により、この度、千葉ゆうきのLCのチャーターナイトに臨めることは大変に光栄なことです。と同時にクラブ唯一の目的である『社会奉仕』という重く奥深い言葉に改めて我が身の引き締まる思いしております。一体この私が何をすれば良いのか、何が出来るのか戸惑いすら覚えます。幸い立派な諸先輩や仲間にも恵まれておりますので、皆に学びつつ少しでもお役に立てるよう努力したいと思っております。又「このクラブの会員で本当に良かった。」と誇りと実感が持てるように日々成長したいと願っております。



5R2Z 千葉ゆうきのLC

L 関根君江

千葉京葉LSCに入会させて頂いて早くも4年余が過ぎました。入会の動機は、亡夫が仕事着からLCの制服に着替える時の笑顔が忘れられなかったからです。自信も無いのに亡夫の同僚に勧められて入会し、見知らぬ横文字に戸惑いでしたが『社会奉仕を一筋に』との暖かい先輩の友情とご指導に支えられ何とか過ごして参りました。又、以前は夫に誘われて何となく楽しんだチャリティー・パーティーも今更ながら裏方の苦勞が身にしみております。

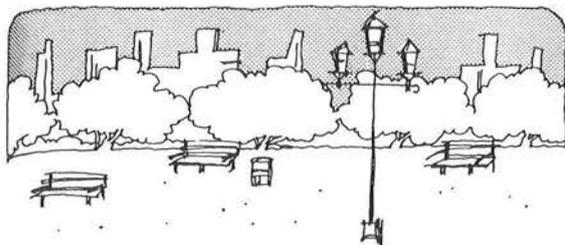
この度、LSCから千葉ゆうきのLCに昇格しましたが、今後とも微力ながら社会奉仕に精進したいと存じます。どうぞ御指導の程宜しくお願い申し上げます。

5R2Z 千葉ゆうきのLC

L 関根政子

自営業という世界に閉じこもっていた私をLSCへ誘ってくれた友人がいました。偶然にも私の誕生日に入会し、その日を期に第二の人生を踏み出しました。昨年6月にLCに飛躍し、奉仕という言葉が私の心の中で重く響いております。奉仕とは金銭的援助も大切なことですが労力を持って人の為に努力することも大切な事だと思っています。援助するということは今、何が一番必要かを考えることで、例えば優しい言葉ひとつでもある人は嬉しいと思われるでしょう。そのような女性らしい奉仕活動をこれからも努力して行きたいと思っております。

今までに色々な人達に出会いたくさん学びました。人々との出会いを大切にしたらからも一生勉強して行きたいと思っております。



7R1Z 神崎LC

L 桜井和男

私は昨年4月、前会長の推薦により伝統と名誉ある神崎LCの一員に加えて頂きました。現在66才、6年前に公立中学校長を最後に定年退職し年金生活に入り、町の社会教育委員等の仕事をお手伝いしていました。

LCについては、名前と活動の一端位は知っていましたが私には縁の遠い存在でした。

しかし、先輩の皆さんが温かく仲間として迎えて助言してくれたり、優しく導いて頂き私でも何とかやって行ける様な気がしてきました。新人ですが出席・会則委員長を仰せ付かり、会員の出席把握・促進という重要な任務にあたり私自身の意欲も高揚し進んで出席しています。

又、月2回の例会は和気藹々とした雰囲気、非常に有意義な内容で充実しており仲間との楽しい心温まる触れ合いの場になっています。

特に心に残る活動としてはライオンズデーの奉仕活動です。朝8時から女性の会や老人クラブの協力を得て、空き缶ひろい・神社清掃・公民館清掃・カーブミラー掃除等を実施し出席も非常によく、年配の会員が進んで汚れた仕事に汗を流している姿に心を打たれました。私自身は遠い地区のカーブミラー掃除をしましたが、「地域に役立っている」という気持ちで久しぶりに心地よい満足感に浸りました。

そして10月末に一泊二日の懇親旅行に参加し、実に楽しい実りの多い旅でした。今まで接触の少なかった人達と親睦の機会が持て、私の人生にとっても大きな心の糧となりました。

抱負としては、無理のない奉仕活動をもう少し増やし体を使って地域に役立てたらと思います。又、現在会員42名ですが意欲と理想を少しでも持つ若手のライオンが増えたら、もっと活発な活動が出来るのではないのでしょうか。

出席委員長の立場からではなく、より多く出席することが基本ではないのでしょうか。出席が活動を充実促進するのだと思い微力ですが頑張っていくつもりです。



7R2Z 八日市場LC

会計L 鈴木 勲

LCに入会して二年余り、まだまだ勉強不足で分からないことの多い毎日です。先輩ライオンの指導を頂き地域社会に密着した奉仕活動が出来るよう努力しております。

クラブに入会した経緯は、1995年1月兵庫県南部を襲った阪神大震災でした。時間の経つにつれ戦後最悪の惨事となり、国はもとより世界各国より善意の救援活動が行われ世界は一つだと痛感致しました。私も出来る範囲で支援をさせて頂きましたが、個人では出来ない事も大勢の仲間で行えば大きな効果を上げる事が出来ると言われ、先輩にクラブ入会を勧められました。例会見学をしメンバーの皆様と親しくさせて頂き入会を決めました。

LCは世界最大の奉仕団体と伺っておりそれぞれの地域で素晴らしい活動をしている事に日頃感銘を受けています。

この度、「房総エイト」への投稿を命ぜられ、経験も浅く何を発表してよいか悩みましたが、幸い今年度会計という大役を「勉強のため」と仰せつかった関係で例会や各事業に参加を余儀なくされ、例会で行う幹事・委員会報告等をこまめにメモし参考にする習慣が付きまして。その結果クラブの運営や活動状況が少しずつ分かって楽しみも倍増している今日この頃です。

最近退会者が多いと言われておりますが、入会された会員には率先して良い意味での交遊を大切にクラブの雰囲気に早く馴染まれる様、又時期尚早など考えずにクラブの重職であっても指名されたら積極的に取り組み苦勞する事もクラブを理解する上で大事なことであり、早期退会防止につながるものと信じます。今後もクラブの伝統を守りながら奉仕活動に誠心誠意つとめ日頃のご恩に報いたいと心に誓っています。



8R1Z 袖ヶ浦LC

L 高橋勝昭

22年余の公務員生活を一昨年退職、子供3人は社会人となり妻と2人で少々の農業を営み「晴耕雨読」の第二の人生を送るべく考えていた折、先輩のライオンズマンから一緒に仲間になってボランティア活動をやってみないかと誘われた。

私の奉仕活動は若い時に体験した住民を災害から守る消防団でした。

昭和30年代のJR内房線の土砂崩れ、昭和40年代の大多喜町の集中豪雨等で活躍した事が思い出されます。

数年前ニューヨーク市街を見学の折、大勢のホームレスの人達へ主婦の自発的な奉仕活動を知り感銘を受けました。

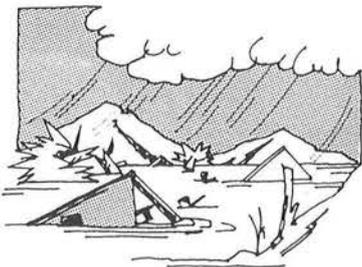
それらを思い体力のある今がチャンスと思いLCに入り早二年近い期間が過ぎ、現在は「ライオン・テーマ」となって充実した気持ちで日々を送っています。

ライオンズマンは各種の事業を営み話題も豊富で楽しく時の過ぎるのを忘れる事もあります。

当クラブの事業で、小中学生を対象にした教育奨励賞があり、又YE事業では女子高生等の派遣、受入れ等で青少年育成に努め、又寒風に吹かれながらLSCも参加して、空き缶やゴミの収集、道路一斉清掃等の事業も行っています。

今日、暖衣飽食の時代と言われ良き時に私達は生を受け日常生活を送っています。人各々価値感の違いはありますが人間としての理想の生き方があるのではないのでしょうか。

「衣食足りて礼節を知る」との諺があります。私は今まで育ててくれた社会に恩返しの気持ちでライオンズマンになりました。今後も微力ですが社会に貢献出来る様、良き先輩と奉仕活動に協力し邁進して行きたいと願っています。



9R2Z 房州白浜LC

L 本間雅和

昨年11月に房州白浜LCに入会致しました。まだライオンズマンの何たるかは分かりませんが、友愛と奉仕の団体である事は認識しております。昨今、新聞・テレビ等により世界各地での戦争、貧困、飢餓に苦しむ人達の様子を報道する番組も少なくはありません。また国内でも災害等の被害に遭い悩み苦しむ人達も大勢います。そんな世の中で、ごく平凡に毎日暮らしている自分は幸福なのだとしみじみ思います。

私は「ライオンズクラブ」と言う団体の中で少しでも人の為、又明るい豊かな社会を築く為にお役に立てればと思います。これからもライオンズマンとして一生懸命活動して行きたいと思えます。ご指導の程よろしくお願い致します。

10R1Z 長南LC

L 大村 優

一昨年に会長L桐谷昭吾や、幹事L大戸利巳に勧められ入会したが、最初は戸惑いが多く皆様に大変ご迷惑を掛けた事を反省しています。

それでも2回、3回と例会に参加し「みんなで展開しよう奉仕の創造」の精神をモットーに実施される奉仕活動は、小学校入学児童に交通安全帽の寄贈、ゴミ拾い活動、幼稚園・保育園児にクリスマスプレゼント、町民マラソン大会協賛、花火大会寄付等その活動は広範囲に及び、町民の人々からLCの存在と活発な奉仕活動が尊敬され喜ばれている事を思うと苦勞も吹き飛んでしまいます。

殺伐とした社会で私達の行っている奉仕活動が少しでも喜ばれ、町の活性化の手助けになる事を願い今後も続けて行きたいと思えます。

又、凧づくり講習会、凧上げ大会が町を挙げて開催される予定です。総ての人々が丸となり総力を挙げて行事に参加する事が、健康増進になり町の活性化に繋がるものと考え、私も体力の続く限りこれらの行事に参加して自己研鑽と共に人に喜ばれる人間になりたいと考えている今日この頃です。命ある限り頑張ります。

*** レオクラブ調査隊ネパールに行く ***

平成9年1月9日～1月16日

333-C地区のLEOCは10クラブとなり、333-Cレオ地区キャビネットが発足しております。今回、青少年育成基金から出された派遣費で、LEO各クラブより選抜されたLEO6名と前地区ガバナーL林静誠を団長として総勢17名で、1月9日～16日迄ネパールを訪れ、友好を深め今後の交流を話し合い目的を達成しました。

「ヒマラヤが語りかけている」

前地区ガバナー L 林 静 誠

カトマンズの空港に降りると、地区ガバナー、レパンカジ、前地区ガバナー、Lハリ、ゾーンチェアマン Lラムが迎えてくれた。入国手続きを済ませ外に出ると沢山のメンバーが歓迎してくれた。



地区ガバナー主催のパーティをはじめ、3回の歓迎パーティには、法務大臣、カトマンズ市長、8名の歴代ガバナーをはじめとして多くのライオンズ、レオメンバーが出席された。日本とネパールの国際交流及び、ユースエクスチェンジに対する期待の強さを感じた。

レオプログラムに考えている、ネパールと日本のレオ達によるヒマラヤ登山計画案準備のため、ポカラに行く。ポカラは軽井沢のようなどても良い街だ。LC、LEOCメンバーの出迎えを受け、翌日は一緒にサランコットヘトレッキング。目の前にマチャブチャ(6993m)が聳え立ち、その先にダウラギリ(8168m)、アンナプルナI峰(8091m)II峰が迫ってくる。感動的だ。私は地区内のレオをはじめ多くの青少年に、この神秘的な自然に触れ、自分を見つめ直して欲しい。朝日に輝くヒマラヤの山々は私たちに語りかけている。

ネパール. LEO調査隊報告

地区レオ委員長 L 高 田 浩

今回の、ネパールLEO調査隊の目的は、両国ライオンズが心を開いて、青少年交換プログラムが出来るかどうかにかかっています。

325地区ガバナー Pankaj Pradhan 主催の晩餐会が最初の日に開かれ、キャビネット役員、各クラブ代表の出席するなか、過去の対応に誤りがあったことを謝罪され、今後は333-C地区を窓口に友好と親睦を図り、青少年交換(YE)を積極的に行いたいとの発言があり大層な盛り上がりとなりました。



2日目、ZC主催の晩餐会には、歴代ガバナー、各クラブ会長、女性LCの会長、3クラブLEO役員らが出席、ネパール最高級のホテルでの連夜の歓迎にネパール側の熱意を強く感じました。

翌日は、世界の住みたい都市ベスト8位に入る《ポカラ》。湖とシマーラヤ、アンナプルナ連峰の陽を浴びたヒマール(雪山)、まさに絵のような美しさと、不思議な安らぎを感じました。心豊かな人々との出会いが素晴らしい街です。

2日間は、特別な予定は組まず、カジュアルな服装で入った《ポカラ》空港には、地元LCの皆様の暖かい出迎えを受け急遽ホテルの庭で交換会。夜はポカラLEOクラブの皆様との、

LEO交換会が開催され、翌日のサランコット(1592m)への合同トレッキングを提案し見事に実現、夜はポカラLEOC主催レイクサイド、パーティーに招かれ、火を囲んで民族舞踊と一緒に踊り語り合う、まさにLCの国際交流の素晴らしさを再認識した次第です。

LEOメンバーが、再会を誓い合ったこと、今回の最大の成果だと確信します。日本で最初のLEO、YE合同(Youth Exchange)へ、スペシャルプログラムを早期に実現出来るよう提案をしていきたいと考えております。

青少年育成基金で、このような機会をLEOに頂き会員各位に感謝申し上げます。

ネパール旅想

人生終盤への間奏の旅であったか。

もし、20歳かせめて30歳であったなら、それは夜明けの旅、希望の旅となっただろう。

自然な世界と人間的な世界、ネパールでこの対象的な両方ともに感動した。

青と白と茶と緑。空も山々も河も湖面も透明で汚れなく、八方に広がる景色を歩きながら、又車窓や機上からあかず眺め入った。どこまでも続く白く輝くヒマラヤ連峰。それを見ることもなく黙々と段々畑に鋤打つ農夫。牛は寝そべり、山羊の親子が列して畦を行く。遠く山間に見える集落には、電気も車も新聞も無いと言う。明治、大正の日本の山村も同様だったろうか。人間も自然の一部、自然と一体の世界。

カトマンズの雑踏。

崩れかけたレンガの家々、中央だけ簡易舗装の穴ぼこの道路には使い古したバスやタクシーや三輪。黒く汚れた衣服の男たちがあちこちにたむろ。道端には大根から衣服や家庭用品や道具などそのまま並べて売る出店。ゲームを囲む大人たち。そのすべてに土埃りと排ガスが覆う。

日本の宮城やタイの宮殿にははるか及ばぬとは言え、白く塗られた鉄柵に囲まれた王宮は蒼然として広く中が見通せない。喧噪の大通りか

レオ顧問 L 有 若 茂(八千代東LC)

ら入った所には高級ホテルや邸宅。これが社会だ。貧富の差は絶望的で見えない。カースト制が残存。

ポカラの青年たちの気概は救いである。文明開化、貧民救済、更には自然保護、環境浄化がレオの目的と言う。希望に燃えた輝く目は今の日本の若者には無い。50ルビー、100ルビーと纏いつく子等も明るく逞しい。

ネパールは親日、好日の国。

日本人にとってもこれほど心許せる国民は他に有ろうか。経済発展の差は大きくとも、資源の乏しい小さな山国であり、自然景観に恵まれ、他国からの侵略で過酷な蹂躪の殆ど無かった共に稀少な平和な国。LCのリーダーや政界、実業界の人達に兄弟、家族の如き親しみを覚える不思議。

還暦を前にして残されたエネルギーは多くはない。それ故、若者たちに希望を託そう。加速する文明の危機、環境破壊の現実化のなかで、仏陀誕生の地ネパールに打開の鍵が見つかりはしまいか。

印西LEOC

会長 LEO 北島 英一

今回、初めてネパールを訪れ、カトマンズとポカラでたくさんの人々やレオと知り合いとにかく人々の素晴らしさに感動しました。

全ての人々が温かい心と素敵な笑顔を持ち、多くの人々から《たのしんでるか?》今度はいつ《ネパール》に来るんだ?その時はうちに泊まってくれと言われ、僕の下手な英語に必死に耳を傾けてくれました。

勿論、自然の美しさは言うまでもなくゆったりとした時間の中で、美しい空、美しい山、美しい水がネパールの人々の笑顔のようにキラキラと輝いていました。現在ネパールは、車の排ガスや動物が処理出来ない、科学系のゴミによる汚染など様々な問題を抱えています。多くのレオが、《ネパールは日本と違い貧しい国なんだ》と話していましたが、彼らは誇り高く生き、経済とは違う面でとても豊かな美しい国であると感じました。

柏グリーンLEOC

LEO 山本 香

この旅行を通じて感じたこと

私達日本人は、日本人と外国人の違いに敏感になり過ぎているのではないのでしょうか。生活習慣、食習慣等、その国の持つ歴史や風土や気候等の、私達を構成する様々な要素が異なれば必然的に違いが生じます。私は日本人と外国人の共通点を見出し、そして互いの異なるライフスタイルを理解し合うよう努力したいです。グローバルチャリティトラストというものは“日本と比較して貧しい国”に慈善を一方的に与えるのではなく、give and take の形で互いの幸せを与え合う事だと考えています。日本人が感じる幸せというものは日本人の枠の中だけのものです。日本人の目から見ているかに発展が遅れている国であっても、幸せの価値は私達と同じです。お互いの形の違う幸せを、お互いに分かち合うこと。これが本当のグローバルチャリティトラストだと思いました。

今回はYEとしてネパールに行かせていただき感謝しています。有り難うございました。

船橋LEOC

会長 LEO 林 秀樹

車の排気ガスで汚れた町カトマンズ、世界一美しい山脈が見える町ポカラ。言葉では説明出来ないほど良いところでした。

でも私にとってもものすごく印象的なのは、何と言ってもネパールの人々です。LCに属している大金持ちの人から、今夜の食事を食べる為に一生懸命物を売ろうとする人、貧富の差は激しいけれどもネパールの人々は心がとても暖かく清らかです。

私達日本人が唯一見直さなければいけないとつくづく反省し、このネパール視察団の一員として、他のレオクラブメンバー全員にネパールの良いところ悪いところを体で感じてもらいたいと思います。

八千代東LEOC

LEO カルブ シェルパ

ネパールは母国でありながら私がまだ知らないところが多かった。今回、日本の八千代東レオメンバーとして、ネパールに来て初めて気づいたことと、一人の社会人として(LEOメンバー)タイと、ネパールで経験したこと感想文として書きたいと思います。

まず、何より地区レオ委員L藤原に教えて頂き様々な社会経験したこと感謝しております。

カトマンズ、ロイヤルネパール エアポートから YAK&YETY HOTEL そして POKHRA のLEOクラブの活動を見て、私達日本のLEOも頑張らなければと思いました。そしてネパールの325地区ライオンズメンバー皆喜んでいました。325地区と333-C地区の国際関係を繋げてくれたと皆ほめていました。八千代LEOクラブを作ってくれました前会長L有岡、そしてネパールの国際関係を繋げてくれました、前ガバナーL林に心より感謝を申し上げます。八千代東LEOCメンバーとしてこれからも国際交流の場を増していく事と、様々な場面で社会活動できる事と思っています。そしてこれからも、ネパールだけではなく、色々な国際社会での活動と、国際交流の場を作っていくつもりであります。333-C地区浮谷ガバナー

始め、全てのLCの方々にご指導とご協力をお願い申し上げます。

私は今回のネパール調査隊派遣が大成功したと思います。

自分がネパール人として、日本のライオンズメンバーとLEOメンバーがどんな思い出を残したのか知りたいと思っています。又、ネパールのLCメンバーが、日本の方々がどのような思い出だったのかお知らせ下さいとのこと。日本に帰りましたら残りのことを知らせるつもりです。今後よろしくお願いいたします。

千葉中央LEOC

LEO ロビン・ジュブゼ

レオメンバーとして千葉県の各ライオン、レオとネパール旅行に参加する機会がありました。私がこの旅に参加した理由は、主に日本人の集団行動に直接触れてみたかったからです。日本に来て以来、日本人グループと共に旅行したり、日本人グループのユニークな団体行動に触れる機会が全くありませんでした。成田空港を出発してから、集合時間、ホテルの部屋割り、散歩の際も完璧に計画され、時間時間で行動する日本人特有の集団行動にとっても興味を持ちました。

ポカラのライオン、レオメンバーに会い、彼等の自国への貢献や、国を発展させたいという強い熱意にふれ、私はネパールについて今までの見解に加え新たな見解を抱きました。

素晴らしい(ぜいたくな)ネパール旅行と、親しい(興味ある)人々との交流から、日本人の考え方を認知し学ぶという素晴らしい機会に巡り会えたことうれしく思っています。ありがとうございました。



銚子中央LEOC

会長 LEO 岡田 充弘

レオ代表の一人として、ネパールに訪問し、日本では出来ない大変素晴らしい体験が出来た事をうれしく思いました。

まず一つは、カトマンズに到着した夕方、地元ガバナー主催のパーティーに出席した事です。地元LCの会長さん、カトマンズの市長さん、また役員の皆さん、LEOCの会長さん、我々調査隊のメンバー合わせて50名のパーティーでした。

僕は、LEOCの会長さんとお話をする事ができ、まず驚いたことは、LEOCの会長さんが28歳でした。僕は中学2年生の時、会長をやりしたので、年が倍違うことでした。

そして、これからネパールと、333-C地区でLEOCの交流、またYEの派遣事業を通じて、ネパールとの国際交流が続けられる事大変うれしく思います。また、3日目に世界一のヒマラヤをフライト観光することが出来、見た瞬間、自分の気持ちが大変大きくなった感じがしました。

この機会を大切に、銚子中央LEOCも色々な国とのYEの交流を深めさせ、ネパール以上の国際交流を目指して行きたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

最後に、ネパールの派遣に参加させて下さってありがとうございます。



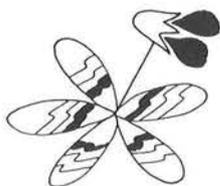
オーストラリアでの日々

後藤育江 (1R2Z 浦安LC)
派遣先 オーストラリア

飛行機の上から見える広大な大地、それがオーストラリアだ。12月19日～1月8日迄約20日間オーストラリアのメルボルン付近のGeelongへホームステイした。そこは有名な町でたくさんの人々が住んでいた。ホストファミリーはFather and Motherの2人で気持ちの温かい良い人達だった。私を色々な所へ連れて行ってくれた。コアラパーク、メルボルン、映画、クリスマス・ニューイヤーパーティー、そしてGread Ocean Road。ステイ先のGeelongは海に接した所で海沿いにはGread Ocean Roadという大変歴史のある道路がある。往復400km位の所迄ドライブした事が一番の思い出となった。海は本当に美しい何処までも続く道は終わりを知らない。海の地平線が少し丸く見える。



地球は丸いと言う事も分かる程。それほど海も、大地も私の想像以上の大きさだ。オーストラリアの人々はとても明るい、きっとこの大地の上で育ったからだと思う。あっと言う間の20日間、驚きと嬉しさと楽しさ、経験と興味が毎日あった。充実した日々を過ごせたのは温かい人々と素晴らしい大地のお陰だと思う。オーストラリアで過ごした日々をこれからの人生のバネにして行きたい。



マレーシアで考えたこと

高野吏加 (3R2Z 柏中央LC)
派遣先 マレーシア

私がマレーシア滞在中に一番思い知ったことは、自分の育った国以外で生活することは普通ではないということだ。こんな当たり前のことを今回一番良く理解出来たと思っている。それと同時に自分が日本人であるということを常に考え続けていた。

自分が日本人であるということは、ただ単に国籍が日本であるということではない。白飯を主食とした日本食を美味しいと感じ、日本語で話し、トイレは何処にもトイレットペーパーが有るのが常識であるということなのだ。私は日本人であるから日本で快適に暮らせるのだ。決して日本がマレーシアと比べて生活水準が良いとか、発展しているとかの理由だけではない。

私は途中から殆ど水分以外食物を受けつけることが出来ず、帰国して次の日入院してしまった。マレーシアでも帰ってからも色々な人に迷惑をかけた。本当に申し訳なく思う。私は国が違うということがこんなに大きな違いであるということに気付けてとても良かったと思っている。

Malaysiaにホームステイして

福田牧子 (3R2Z 柏中央LC)
派遣先 マレーシア

私が今回マレーシアへ行行って一番強く感じた事は肌の色の違いです。私自身は色々な人種の人達と生活してみて、前のように自分の中の差別する事が無くなったと思います。以前は肌の色が黒かったりすると何となく厭な目で見ていたけど(恥ずかしいが…)、今は「肌の色なんか関係ない」と言う事ができます。誰にでも優しくして上げる事が出来ると言う自信が持てるのも、自分がマレーシアで外国人として入っていたからでしょうか？

しかし、やはり人種差別、貧富の差というも

のは目につきました。私がお世話になった第1、第2ホスト共に華僑と呼ばれる(彼らはそう呼ばれることを嫌うらしいが…)中国系の人達でその家には、フィリピン、インドネシアから出稼ぎに来ているお手伝いさんがいました。特に私がショックだったのは、インドネシアから来ているお手伝いさんが私より年下だったことです。この頃の年齢と言えば勉強もしたい、遊びたいといった人生の中でも一番輝やける年頃だと思っていたのに(話などで聞いてはいたが)実際自分の目で見るとショックを受けました。やはりこんなことは無くしてもらいたいと心から思いました。



近代都市マレーシア

原 口 美 紀 (3R2Z 柏中央LC)
派遣先 マレーシア

私はマレーシアのクアラルンプールとペナン島に行き2つのホスト家庭にお世話になった。

第1ホストのクアラルンプールは、私が思っていた以上に発展していて高層ビルがたくさんあった。それにツインタワーを初め新しい建物の建設が行われていた。将来アジアの中心都市になると言われているのと、又日本に追いつこうとしている様子が伝わってきた。

ホスト家庭には同年の男の子がいて、マレーシアの同年代の子の考え方や、ここで流行していることなど知ることが出来た。そして彼や彼の友達は皆日本語にとっても興味を持っていた。

会話の中で出てきた言葉を「日本語では何て言うの?」と聞いてすぐにメモしていた。一生懸命日本語を学ぼうとしている姿を見て、それ程までに日本に興味があるのだと思い驚いた。



人生の思い出

松 野 航 (3R2Z 柏なの花LC)
派遣先 マレーシア

マレーシアの空港に着いて最初に感じたことはとても気温が高くそして蒸し暑いことでした。その為YE生のユニホームを着ていた私は汗でびしょぬれになりました。

食生活について驚かされたことは向こうの人は家では滅多に食事をせず殆どが外食でした。食べ物は思っていた通りとても辛かったので度々お腹をこわしました。

又、一番心に残ったことはホテルのいる川に行ったことでした。日本でもホテルなど見たことがなかったので、クリスマスツリーの様に同時に光がついたり消えたりする一万匹のホテルにはとても感動しました。

第2のホストファミリーは、タイ国境近くのクタバルという所がありました。とにかく家がとても大きくきれいでメイドさんが居ることに驚きました。

日本の人は殆どが日本語しか話せないのに対して、こちらの人は殆どが中国語、マレー語、英語を話す事が出来るのにとっても驚かされました。

20日間のホームステイで日本ではとても出来ない様な体験を色々させて頂き人生の中で忘れられない思い出になりました。

マレーシアを訪れて

江口 貴将 (4R2Z 白井LC)
派遣先 マレーシア

僕は12月26日～1月8日の帰国まで約20日間マレーシアに滞在した。マレーシアを訪れるのは初めてで、正直言うと出発前はあまり良いイメージを持っていなかった。しかし実際に訪れて見ると想像していた以上に発展していて活気があり素晴らしい国だった。



今回のホームステイでは色々な事を経験したが、一番の収穫はマレーシアの人々の親切な心に触れたことによって、日本での経済的有益性を追求する日常生活の中で忘れていた「人々に対して感謝の気持ちを持つ」と言うことの大切さを改めて認識することが出来たことです。

ここは君の家だから

桑原 千尋 (4R3Z 八千代LC)
派遣先 マレーシア

ホストファミリーは、ファザー、マザー、17才のアラン、14才のジョイスの4人家族でした。アランとジョイスが夏休みだったので毎日色々な所へ連れて行ってくれました。又ホストファザーも忙しいのに関わらず、車で1時間程の所にある首都クアラルンプールまで一日に何回も連れて行ってくれました。何事にも一生懸命な人で私にも様々な事を教えてくれました。結婚式にも連れて行ってもらう食事の食べ方、

挨拶の仕方等、本当に色々なことを教えて頂きました。それは“夢を持ち、それに向かって実行していく。”ということです。そしてお別れの日に行って「ここは君の家だから、自分でお金を貯めたらまた来なさい」と言う言葉でした。



ハブニングの旅

船越 文徳 (4R3Z 八千代LC)
派遣先 マレーシア

昨年12月19日から今年の1月8日までマレーシアに行って来ました。空港のロビーで家族と対面するはずでしたが、なかなか来ないと言うハブニングがありました。着いた日が例会の行われる日で、ホストファザーは用事があり来られなくてLCのメンバーの人に送ってもらい、そのまま例会場へ行きましたが、スピーチも満足に出来ずバナーもバッチもトランクの中で、とても大変なことになりました。

又ファザーは、Petaling Jaya クラブの会長で、X'mas から New Year にかけて旅行を計画してくれたので、第2ホストファミリーの所には行かないで、3週間を Allan Chan さんの家庭で過ごすことが出来ました。



人生への自信

小川 雅章 (10R1Z 茂原LC)
派遣先 アメリカ合衆国

私は、2週間余りアメリカのミズーリ州へ行って来たのですが、この経験は私のこれからの人生に大きな自信を与えてくれました。



ホームステイ先での生活は、予想外にホストファミリーは余り話しかけてくれなくて、自分も怖くて全く話せませんでした。しかし、1週間位が経ち、このままではホストファミリーを不安にさせてしまうしアメリカに来た意味が無いと思い、積極的に話しかける様になりました。通じない事の方が多かったのですが、沈黙が続いていた頃より全然気持ちが楽になり、ホストファミリーの方も一生懸命理解しようとしてくれました。

楽しみは食べ物

福井 佑介 (10R2Z 大網白里LC)
派遣先 マレーシア

第一ホストはクアラルンプールの近郊に住む Mr. ELIC さんと言う家でとても親切で色々な事を学びました。私が最も楽しみにしていた食べ物は思っていた以上に辛くて、食べた時の私を見て、ELIC さんや知人のピーターさんに笑われてしまいました。向こうでの生活は意外と変わったものでした。朝7時に起こされたり、

昼近く迄起こされないこともあり、朝の起床には殆ど規則がなくゆったりした生活をしました。向こうは何時でも夜が明るいので殆どの人々は昼から夜にかけて活動していました。

第二ホストはタイの国境近くのコタバルと言う町でした。Dr. chua さんと言って医者でした。奥さんも医者でその為かとても豪勢な家で滞在することが出来ました。chua さんの知人の結婚式に参加したり、大晦日の夜は New Year Party という大規模なパーティーをしたりとても楽しい毎日でした。

今後はマレーシアと言う国に視線を向け、興味を持って色々知りたいと思います。このような機会を与えて頂いたLCの皆様に感謝します。

人の暖かさの中で

渡辺 典子 (10R2Z 大網白里LC)
派遣先 マレーシア

言葉の通じない国での滞在と言うものを私は甘く考えていた様な気がします。授業で習った文法だけで安心し、期待だけで出発したのですが着いた時に驚いたのは、言葉を理解して上げられなかったのです。マレーシアの訛で聞き取れないのと、何より私の英語力の無さを痛感しました。しかしこんな私に「人間は誰でも聞く耳を持つてる。上手く話せなくても、心で接する事が出来る。」と暖かく心こもったステイ先の家族の方々や同じ家庭に滞在した人でした。

又、最後の日は「この中にお金を貯めて貯まったら又マレーシアに来なさい」とマレーシアのすずの入れ物をプレゼントしてくれました。それ迄には少し年月が必要だと思いますが、その間に英語を学び話せる様になった私を見せに行きたいと思います。

この滞在で私は人間にとって最も大切なものの一つを学ぶ事が出来たと思います。私は今まで他国の人を見るとどうしても違った目で見てしまいがちでした。しかしこれからはマレーシアでの暖かさを思い出して接して行くつもりです。そしてこのホームステイや人の触れ合いを通して、これからの社会に少しでも貢献出来る様頑張っていくつもりです。

継続するアクティビティ

2R2Z 流山LC

第14回ライオンズ杯

流山市内中学校バレーボール大会

H9.1.26(日)市立常盤松中学校体育館に於いて開催されました。

生徒達も心弾ませ日頃の練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げ、第14回の回を重ねた大会を盛り上げてくれました。さらに来年に向け期待と闘志を燃やしていました。



さつき園・つばさ学園

第14回餅つき大会



H9.1.27(月)暖かな日射しの中、恒例となったこのACT。

一年一度の楽しみと逢って話したり出来る喜びに、我々も子供たちも歓喜し振り下ろす腕に弾みがつかしました。

市内中・高等学校野球大会に『紅』の優勝旗を寄贈

3R2Z 柏オークLC

柏市内の中学校・高等学校野球大会がそれぞれ春と夏に行われております。

この大会は柏市野球連盟がバックアップして行われておりますが、同連盟が平成8年で創立50周年を迎えられました。幾多の困難を乗り越えて半世紀に亘り野球の振興にご尽力をされた連盟の関係者各位に衷心より敬意を表する次第です。

柏オークLCは、一昨年世界大会に出場した市立柏高校プラスバンド部を12年前より支援して参りましたが、今年度野球を通じてスポーツの振興と若人達の健全育成を願い市内中学・高等学校の野球大会に共催で参加させていただくことになりました。

今回は野球大会に肝心の優勝旗がなく高額で購入できないということから、私たちは中学の部・高校の部にそれぞれ一旗づつ(総額67万円)優勝

旗を寄贈させて頂きました。

春の甲子園に市立柏高校が出場を果たしたことは、まだ記憶に新しいことです。柏市民が沸き上がったあの感動を再びと願いを込め今後も大会を一層盛り上げていきたいと考えております。



献血推進PR大看板の贈呈式

5R3Z合同ACT

献血運動を呼びかける大看板を市原市市役所大通り沿いの市保健センター入口に、LC5R3Zの6クラブにより建立された。1月14日、同市を始め市献血推進協議会、県赤十字血液センター、LC地区役員、6クラブ三役ら関係者が集まり贈呈式が行われ同市に寄贈された。贈られた看板は、高さ5米、幅1.3米の三面広告塔。三面に地域より献血標語を募り、社会人の松延益次郎氏、高校1年の鈴木絵美さんを優秀作者とし、贈呈式後に感謝状と記念品をLCより贈り、県赤十字血液センター、片桐優所長より各クラブに対し感謝状が贈られました。

◎献血の主役は若いあなたです 松延益次郎

◎輸血まつ心になって献血を "

◎献血は私ができる人助け 鈴木絵美



由緒ある「タブ」(楠の木的一种)の大木

7R2Z 旭LC

旭市「スポーツの森公園」に植える

昔、戦国時代の末期において、小田原城が落城して「北条氏」が滅んで同盟軍の「千葉氏」も全て敗者となり、その内の一党が、現旭市のN集落に土着して武士を捨て百姓になったという。

その一党は「タブ」(楠の一種)を各人の家に植えて、元武士であり同族であった印として大事に育てて来たと言い伝えられています。

爾来約四百年、この「タブ」の木は大木となりましたが、巨木の為道路の拡幅や住宅の日陰になって困る等で伐採されたり売却されたりして、現在は殆ど無くなり見られなくなりました。

最近この「タブ」の木とみられる巨木が造園業者の所有となって売りに出されているとの話を聞き、由緒有る木が旭市の外へ売られてしまう恐れもあり、そこで旭LCのACTとしてこの度市へ寄贈致し、完成間近な「旭スポーツの森公園」に植えられました。

この「タブ」の木は、重量約15トン、高さ約20米近く、主幹は枯れてしまいましたが、葉(ひ

こばえ)が十数本に群生し、広い公園内に於いても天を突く堂々の偉容で聳えたっており見物に来る人もあります。夏には大きな木陰が炎暑を防ぎ市民の憩いの場として、冬には常緑の葉が寒風を遮り市民に親しまれ、旭市の名物として益々盛んに大きく育てて行く様願っております。



第19回 館山市・三芳村 青少年剣道大会 開催

9R1Z 館山中央LC

9R1Z館山中央LCの青少年育成事業の一環として資金援助のもと「健やかに育てよう明日の子らを」をテーマとして、始まった剣道大会も各関係者の努力と協力を得て19回目となり、主催館山中央LC・館山市教育委員会・三芳村教育委員会の、同剣道大会が、2月2日館山市立第三中学校体育館で開催されました。

当日は近郷の剣道場、小中学、高校生328名による個人男女トーナメント戦、高校生男女五人一組の団体戦にと関係者、父兄の声援の中激しい攻防戦が展開されました。試合後、関係者による反省会の席上、全国大会に出場する長狭高校の為にドネーションを募り、金一封が渡されました。

〔団体戦男子〕

優勝 長狭高校A 準優勝 長狭高校B

〔団体戦女子〕

優勝 安房高校A 準優勝 長狭高校

〔優秀選手〕 男子 瀬戸大輝(長狭高校A)
女子 能重千賀子(安房高校A)
〔三年連続優勝〕 吉野晃彦(富崎剣道)



タッチヤング活動

9R1Z 館山中央LC

《《 タッチヤング活動 》》

激増・深刻化する少年非行に対応するため、警察が長期的展望に立った根源的な防止対策として、昭和59年2月から活動を開始した制度で、地域警察官が予算の裏付けも無く、地味にコツコツと地域の少年と触れ合いその触れ合いを通してお互いの信頼感を高め、少年自身の規範意識や自制心等を育み健全育成と少年非行の防止を図ろうとするものであります。

~~~~~ タッチヤング四つの活動 ~~~~~

① 明るい話しかけ活動

警察官が街頭で出会った少年に対して「おはよう」「がんばれよ」等と声を掛け挨拶や声援を送り、お互いの信頼感を高める。

② 触れ合い広場づくり活動

警察本部や警察署の見学、非行防止教室や交通安全教室の開催と交通安全の意識高揚にポスター

や習字の作品募集や展示、警察官と少年のスポーツ練習、又産業文化展に於いてパトカーや白バイの任務、構造の説明や試乗体験等で触れ合い交流を深める。

③ 少年柔剣道活動

警察署などの道場を開放し、柔道や剣道の指導を通して規範意識や忍耐力を養う活動をする。「館山警察署少年柔道部」「船形県道スポーツ少年団」として地域のスポーツフェスティバルや県大会に参加している。

④ 社会参加活動

街や道路、海水浴場の清掃、老人施設の慰問や地域の花壇の花植え、又祭りばやしや郷土芸能の伝承等、少年に社会の一員としての自覚や責任を持たせる活動をする。

(L 最首俊彦 記)

クリスマスプレゼントの配布

10R1Z 長南LC

12月19日、恒例の町内幼稚園、保育所の園児にクリスマスプレゼントを配布した。

9時30分町立保育所に集合。町立保育所園児156名、次いで長生学園幼稚園186名、町立幼稚園73名の順で巡回し、計415名の園児に赤いきれいな袋に入った菓子袋を配った。LCの幹事と会計が赤白の服、帽子、白髭のサンタクロースに扮装して、菓子袋の入った大きな袋を肩にかけて部屋に入るや園児達は目を輝かせ大きな拍手で私共を迎えてくれた。

会長から園児にもよく分かる様なお話をした後、サンタクロースから園児一人ひとりにプレゼントが渡され、小さな手でしっかりと袋を抱いて「ありがとう」と大喜び、サンタクロースから皆さんが先生やお家の人の言うこ事を聞いて良い子であれば、又来年もプレゼントを持って来ますよの挨拶に「ハイッ！」と元気な声が部屋いっぱいに戻って来た。渡し終わり部屋を出る時は「ありがとう」と小さな手で握手攻め、こんなに喜んで

待っていてくれたのかと目頭が熱くなった。あの澄んだ瞳、無邪気な顔、来年もこの園児達の楽しい夢は是非叶えてやりたい。

又、職員の方々も小さな園児を預かって大変な気苦労もあろうが、常に明るく笑顔で園児達と一緒に勉強し、一緒に遊んでいる姿には頭が下がる。

この園児達が身心共に健全に成長し、やがては21世紀の日本を、又この地域を背負って立つ人になってくれる事を願って帰路についた。



養護学校クリスマス慰問

10R2Z 東金LC

一足早いクリスマスパーティーがクラブ恒例の行事として18日県立東金養護学校で行われた。

小学部から高等部迄、96名の生徒達は今年最後の楽しみな行事として待っていてくれる。高等部の生徒によるたどたどしくも一生懸命な進行とナレーションにより、絶大な拍手の中我々会員15名が派手なライオン帽とベストを身に付けて入場し会は始まった。

同行した人形劇を楽しみ、生徒達は日頃練習してきた合唱等をアンコールに応じて迄披露してくれ楽しい時が過ぎ、メインのサンタクロースの登場となり、暗くなった室内に照明で照らされた入口よりクラブ員のサンタ2人が大きな袋を背負って現れた。面白いお話のあと、一人ひとりにクリスマスプレゼントのブーツを手渡して廻り、会は

最高潮に達した。お互いに写真を撮ったり握手をしたり話をしたりの後、子供達の手芸品をおみやげにもらい、出口迄付いて来て手を振る子供達と又、来年のクリスマスを約束して行事は終わった。



編 集 室

○とにかく時代は大きく変わって来ました。先日行われた地区主催の県高等学校弁論大会では出席弁士は全部で21名、そのうち男子はたったの4名ということで、その昔弁論と言ったらまず主義主張を論ずる所詮論客なるものが多く、口角泡を飛ばす活弁型が主流をなしていました。それに引き換え、当節は地球環境やグローバルな平和論がそれに取って代わりつつあります。確かに先祖から引き継いだこの地球は樹木一本から山河に至るまで大切な財産であり、これを守るということは大変難しいことでしょう。あえて、奉仕でそれを行うことの意義は大きく計り知れません。最優秀賞の吉田さやかさんは「個人の輝きは日本の未来」の中で力強くこれを説いていました。その名の通りとてもさわやかでした。出来たら一人くらい男の子が受賞してもらいたかったと思います。

○地区ライオネス連絡会議も女性たちの明るい表情に出会いました。それはとてもいいことであり、これも時代の流れと言うものでしょうか。練習のための「ライオネスの歌」の合唱がこだまする時、女性はより美しくなっていました。

○いま一つ、早いもので年次大会がもう秒読みの段階に入っています。昔から「終わりよければすべて良し」の譬えのように大会委員会は打合せを何回も繰り返しているようです。そして、気持ちよく「ご苦労さま」と言って、次の成田キャビネットへ引き継ぎたいと張り切っております。少し前が見えた頃から「これで半分」と身を引き締めております。

○さて、「房総エイト」第4号は如何だったでしょうか。戸惑いながらも新人は奉仕を通じて社会を開いて行く事になります。何も知らない世界は怖い反面興味もあり、LCは入会と同時に誰でも同じ地位にあり、友達を作るのもまた人生であります。新人の目から見た世界は常に未来を語り、その意味では貴重な発言であると思っています。いつも、ご愛読いただきましてありがとうございます。一同礼。

物 故 会 員

謹んでご冥福をお祈りいたします

- 故 L 能 嶋 秀 雄 (12/3 逝去: 成田グリーンLC)
故 L 米 田 豊 (12/5 逝去: 八街グリーンLC)
故 L 池 田 直 人 (12/7 逝去: 房総勝浦LC)
故 L 中 村 喜之助 (1/6 逝去: 千葉エコーLC)
故 L 町 田 健 二 (1/10 逝去: 九十九里LC)
故 L 山 崎 正 道 (1/15 逝去: 山 田 町LC)
故 L 三 門 昭 一 (1/22 逝去: 市 川LC)
故 L 井 上 嚮 一 (1/24 逝去: 千葉京葉LC)

予告 — テール・ツイスター特集

次号は「テール・ツイスターあの手この手」を中心に取り上げて見たいと思っています。又、写真で見るテール・ツイスターの活躍は如何でしょうか。是非ご期待下さい。

★★ 乞う投稿 ★★

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 地区ニュース

房 総 エ イ ト No. 4

発行日 1997年2月15日

発行者 ライオンズクラブ国際協会333-C地区
地区ガバナー L 浮谷俊行
〒260 千葉市中央区間屋町1番55号
シーオービル6F

TEL 043-243-2528 FAX 043-247-4756

編集者 地区PR・情報委員会

委員長 L 皆川春安

印刷 株式会社アーテック

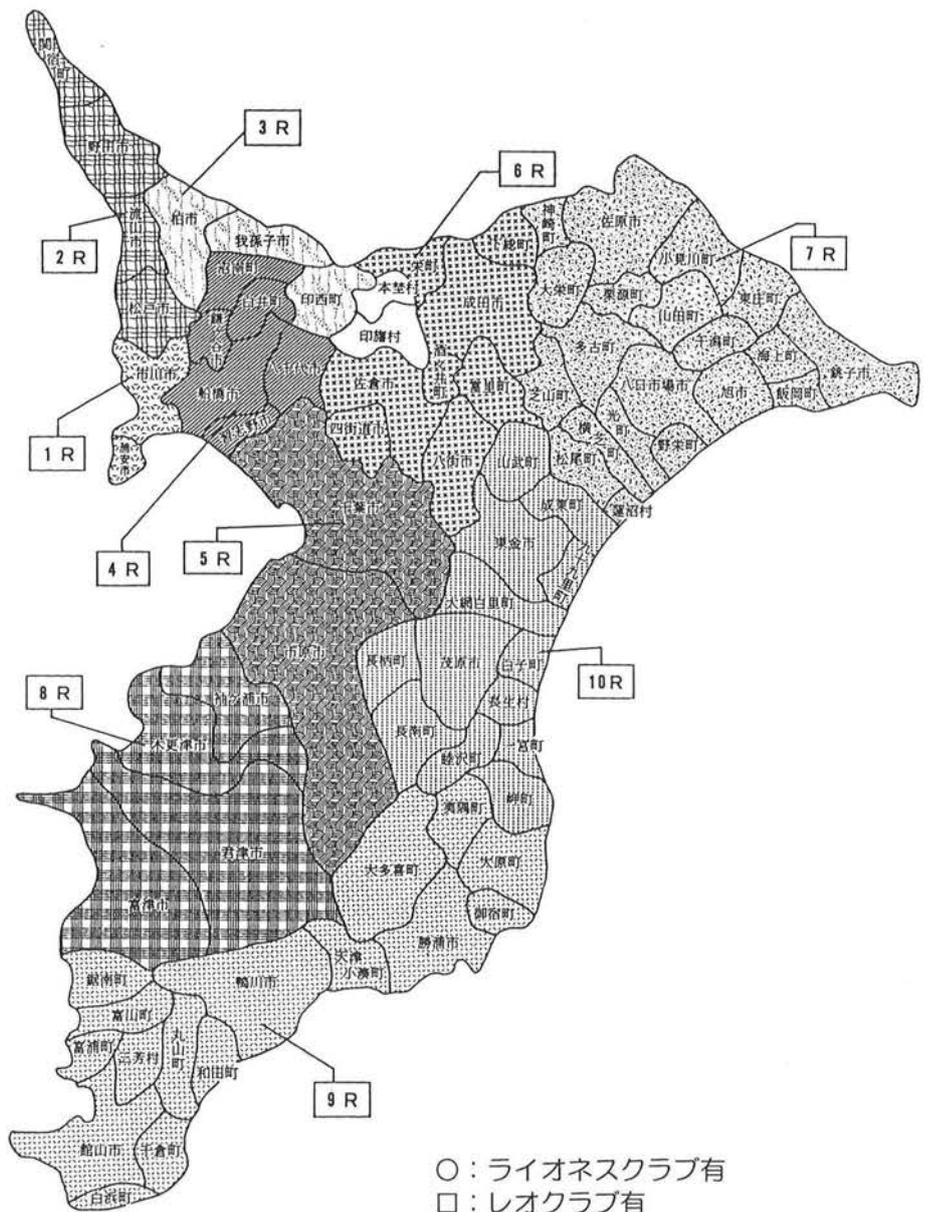
TEL 0471-54-1441 FAX 0471-55-1514

333-C地区

リジョン 分布図

(1996年7月)

- 1 R-1 Z _____
市川, 市川東, 下総中山, 市川北
- 1 R-2 Z _____
浦安, 行徳, 浦安シーサイド, 浦安中央
- 2 R-1 Z _____
松戸, 松戸中央, 松戸ユーカリ, 松戸南
松戸グリーン
- 2 R-2 Z _____
流山〇, 松戸東, 野田, 関宿
- 3 R-1 Z _____
柏〇, 我孫子, 印西口, 柏さくら
- 3 R-2 Z _____
柏中央, 柏グリーン口, 柏オーク
柏なのはな
- 4 R-1 Z _____
船橋, 船橋中央〇口, 鎌ヶ谷, 沼南
船橋ポート, 船橋グリーン, 船橋さざんか
- 4 R-2 Z _____
船橋東, 船橋京葉, 船橋北, 白井
- 4 R-3 _____
習志野, 八千代, 習志野中央, 八千代東口
- 5 R-1 Z _____
千葉, 千葉中央口, 千葉幕張メッセ
千葉グリーン
- 5 R-2 Z _____
千葉エコー, 千葉京葉, 千葉若潮
千葉ポート, 千葉ゆうきの
- 5 R-3 _____
市原, 市原南〇, 市原コスモス, 市原中央
市原東
- 6 R-1 Z _____
成田, 酒々井, 成田グリーン, 成田平成
富里下総, 栄町
- 6 R-2 Z _____
佐倉, 四街道, 八街, 八街グリーン
佐倉中央
- 7 R-1 Z _____
銚子, 佐原〇, 東庄, 神崎, 銚子中央口
- 7 R-2 Z _____
八日市場, 総武中央〇, 多古, 大栄, 栗源, 光
- 7 R-3 _____
旭, 飯岡, 干潟, 山田町, 海上
- 8 R-1 Z _____
木更津, 木更津中央, 袖ヶ浦〇
木更津金鈴〇
- 8 R-2 Z _____
富津〇口, 上総, 君津〇口, 君津中央〇
- 9 R-1 Z _____
館山, 鋸南, 館山中央, 館山北, 館山南
- 9 R-2 Z _____
鴨川, 房州白浜, 房州朝夷, 房総勝浦
夷隅
- 10 R-1 Z _____
茂原, 上総一宮, 茂原長生, 白子, 長南
長柄, 茂原中央, 茂原たちばな
- 10 R-2 Z _____
東金, 大網白里, 九十九里, 成東



〇 : ライオネスクラブ有
□ : レオクラブ有

ライオンズクラブ 112
ライオネスクラブ 11
レオクラブ 8

ライオンズクラブは奉仕の輪を広げています



We Serve

私達の住んでいる地域で
こんな活動をしています



献眼・献血推進



青少年健全育成

高齢者・障害者福祉

環境保全



ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体です